

## ごみのカラス被害を減らすために

尼崎市 ごみ減量推進課

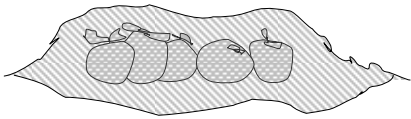
ごみのカラス被害は、全国の多くの市民と自治体を悩ませています。特にカラスの繁殖期である4月～6月頃は被害が多いようです。

本市では、阪神間の多くの自治体と同様、地域や市民の皆様の自主的な対策をお願いしており、持ち出し協力場所やマンションのごみステーションの場合には防鳥用ネットを被せる方法が、また、各戸収集で自宅玄関前にごみを出す場合にはごみ箱に入れる方法（必ず事前に市環境市民局業務課に相談願います。下記の「方法2」をご覧ください。）が最も効果的です。

また、カラスが狙う調理くずや食べ残しなどの生ごみは、燃やすごみの中に約28%入っておりこれらの生ごみをできるだけ減らすことも必要です。

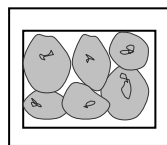
市では収集時にごみが散らかっている場合には、手で拾えるものはできる限り清掃するようにはしておりますが、カラス対策へのご協力をよろしくお願いいたします。

### 方法1 防鳥用ネットをかぶせる



防鳥用ネットをごみ袋の上から掛けます。ネットは5mm以下の細かい網目のもので、ごみ袋全体をおおうことのできる大きさのものが適しています。網目が大きすぎると隙間からつつかれますし、網目が細かすぎると強い風の時に飛んでしまう可能性があります。

### 方法2 ごみ箱に入れる、ごみ袋のまわりを囲う



上から見た図

↑  
板などで囲う！

カラスは横方向につつくことは得意ですが、縦方向に引っ張ることは苦手とされています。横からつつかれないように、ごみ箱に入れたり、ごみ袋のまわりを板などで囲います。

ごみ箱に入れる場合には、必ず事前に市環境市民局業務課（家庭ごみ案内ダイヤル：6374-9999）に相談願います。